



# 子どもが主役の幼稚園

～本物から学ぶ～



墨田区立第三寺島幼稚園 園長 福井 みどり

子どもが主役の幼稚園 キーワード 「責任」「信頼」「誇り」

～全ての判断基準の第一は子どもです。子どものにとって良いと思うことは積極的に取り組みます。～

## 保護者の願い～地域に開かれた幼稚園

保護者・教職員（幼稚園）の信頼関係を大切にする。その中で子ども一人一人が大切にされ、その子らしさや良さを引き出す責任を果たす。また生きる力の基礎を培う。そのために豊かなかかわりの中で、基礎となる体力、人とかかわる力・感性や表現する力を育てる幼稚園を目指す。

## 地域の願い ～地域から信頼される幼稚園

地域と幼稚園の信頼関係、保護者の地域の信頼関係を築き、それぞれに責任を果たしながら地域に親しみを持ち、人とのかかわり合いを大切にできる子を育てる。幼稚園を中心に互いに信頼関係を構築することで、三寺幼稚園に誇りをもって通える子の育成を目指す。

## 東京都教育ビジョン 基本理念

東京都教育委員会

社会全体で子供の「知」「徳」「体」を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に主体的に貢献する力を培う。

## 墨田区教育施策大綱 目指す子供の将来像 平成28年6月～

### (1) 将来、社会で活躍し、地域に貢献できる自立した人

- ア 感性豊かでいろいろなことに興味・関心をもって学び、実践できる人
- イ 自己肯定感を育みながら、まわりの人の立場や気持ちを思いやることができる人
- ウ スポーツや遊びを通じて健やかな体を育むことができる人

### (2) 郷土に誇りを持ち、異文化とも敬意をもって積極的に交流できる国際感覚のある人

## 第三寺島幼稚園 教育目標と内容

人間尊重の精神を基調として、心身ともに健康で、知性・感性に富み、人間性豊かな幼児を育成する。

### ◎◎元気よく遊ぶ子ども

- ・意欲的に遊び、五感で感じ取り、自分なりに表現することを楽しむ。
- ・明るくのびのびと充実感を味わうよう、遊びの中で十分に体を動かす。
- ・健康な生活リズム・食の習慣を身に付け、暑さ寒さに負けず進んで戸外で遊ぶ。
- ・危険なことや災害について知り、安全に気を付けて行動する。

### ◎やさしい心をもった子ども

- ・友達とのかかわりを深め、思いやりをもつ
- ・自然や身近な動植物に親しみ、命あるものを大切にし、いたわる気持ちをもつ。
- ・高齢者や地域の方達、異年齢の子ども達に親しみをもつ。

### ◎進んで取り組み、最後までやりぬく子ども

- ・遊びや行事等を通して、自分なりの目標をもってやり抜き、熱中する体験を積む。
- ・試行錯誤や協同することを積み重ね、友だちや他の人とのかかわりを楽しみ達成感を味わう。
- ・「なぜ、どうして」など、興味や好奇心をもち、少しずつ自分の世界を広げていく。

## 教職員の基本姿勢「子どもが主役の幼稚園」

- 愛情をもって子どもの思いや願いを受け止め、自立心や意欲を育てるよう、認め勇気づける指導を進める。
- 幼児理解に努め、一人一人の興味関心を大切にしながら、日々の教育活動・環境づくりを振り返り、研究・研鑽に努める。
- 園の教育活動を進んで知らせ、保護者と共に、児童の成長を喜び合う。幼稚園が親と子の温かい育ちの場となるよう、親身に接し相談や支援に努める。大人も相互に学び合い成長する。
- 保護者・地域・小中学校と連携し、豊かなかかわりや具体的な体験の場を創り出す。

# 令和3年度の重点

## ◎元気によく遊ぶ子ども ～元気・勇気・協力～

自然体験や生活経験を通して、自発的に活動することや、表現することを楽しむ意欲や態度を育てる。多様な遊びで生きる力の基礎を育み、「自ら学び考え行動する力」につなげていく。

オリンピック・パラリンピック教育  
スポーツを遊びとして楽しむ。多様性を認め助け合う気持ちを育てる。

### 健康

- 自己の存在感を味わう。
- 園庭、小学校の校庭・体育館を活用した体を使った様々な遊び
- 食育の充実 育てて作り食べる。
- 保護者と連携した健康な生活リズムや基本的な生活行動の定着  
(早寝早起き朝ご飯・身の回りの始末)

### 言葉

- 親しみをもって日常のあいさつを交わせるよう、まず大人が示す。
- 温かな人間関係の中で、安心して自分の思いを言葉で表現できるように促す。
- 集団で生活するための言葉、や気持ちよい表現に気付かせる。ふわふわ言葉
- 体験からイメージや言葉を豊かにする。
- 対話を大切にする。

### 人間関係

- 元気にあいさつ ふわふわ言葉を使う。友達の良さをみつける。
- 試行錯誤や協同の繰り返しの中で、自分で考え行動する芽を育てる。
- 遊びの中で集団のルールや善悪の判断を身に付けさせる。また、自分の気持ちを調整することを学ぶ。
- 高齢者や小中学生・保育園児等との交流を通した学びのある活動

### 重点となる5つの領域における内容

#### その取扱い

幼保小中一貫教育の推進

### 環境

- 身近な自然とふれあう環境づくり  
動植物の世話・自然体験の広がり
- 季節の行事・地域の伝統に触れる
- 日常生活の中で数量や図形・標識や文字などに触れる。
- 知的な好奇心を高める働きかけをする。(実物・お話・掲示物 見学・本)

### 保育の重点

### 表現

- 生活の中で様々に感じ取り十分に楽しむ。過程を大事にする。
- イメージを豊かにし、自分なりに、かいたりつくったりすることを楽しむ。遊んだり飾ったりする。
- 音楽に親しむ。
- 感じたことを歌ったり身体表現をしたりし楽しむ。

### 特別支援教育の充実

家庭・医療・福祉関係機関との連携を図り、個別の支援を充実させる。  
計画的な支援体制を整える。